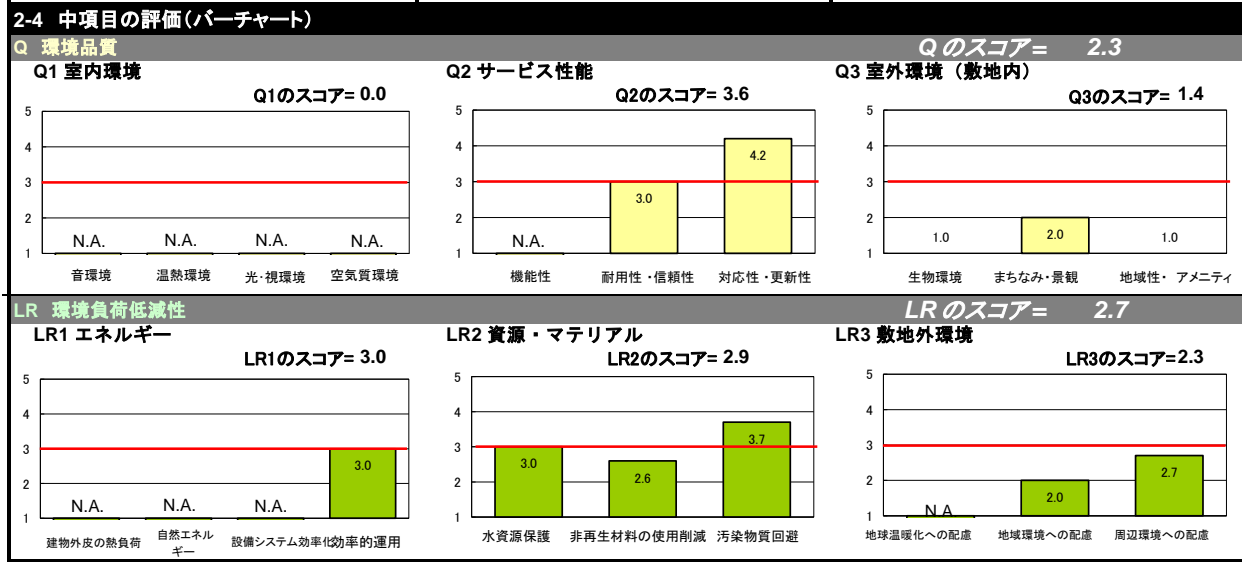
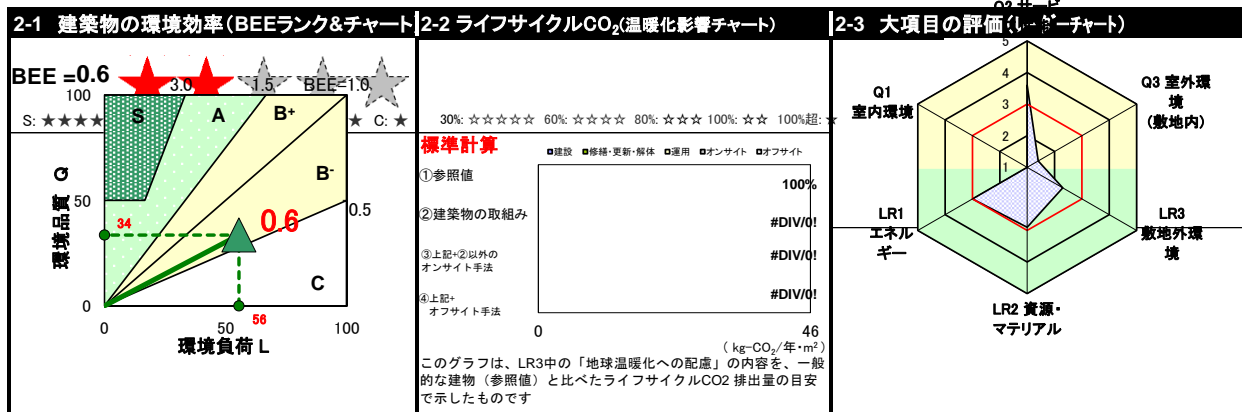


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東プレ相模原工場	階数	地上1F
建設地	相模原市中央区橋本三丁目18番1の一部外	構造	S造
用途地域	工業専用地域、市街化区域、防火地域指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,928時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年4月1日
敷地面積	36,595 m ²	作成者	(株)ナカフー建設東京本店一級建築士事務所
建築面積	11,525 m ²	確認日	2019年4月3日
延床面積	11,422 m ²	確認者	(株)ナカフー建設東京本店一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>耐用年数の高い内装材料を採用することで、ライフサイクルコストの低減に努めている。また、環境にやさしい材料を採用し、地球環境保護に配慮している。</p>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>特になし。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数高い内装仕上げ材と給排水配管材料を使用している。また、壁長さ比率:0.1未満、設計用積載荷重:10kN/m²で設置している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>特になし。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>特になし。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体+軽鉄+仕上表材のデティールを採用。発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>特になし。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される